

予防接種に助成拡大を

政風会
岡田 千賀子



教育長 免疫がつく予防接種に助成

問 インフルエンザで学級閉鎖になると、学習機会の損失になるが対応は。
答 学習については、出席停止期間が短い大きな影響は受けていないが、課題のポスティングなどの対応をしている。
問 予防接種費用の一部助成を望む子育て世帯に対する考えは。
答 助成については、重症化しやすい病気で、ワクチン接種により長期間免疫がつく確率の高い予防接種に対して行っている。毎年接種が必要となるインフルエンザ予防接種



▲感染症や交通安全に気を付けて登校

の助成は考えていない。

安全な学びの保障は

教育長 衛生管理の基準は満たす

問 小学4年生までは1学級の定員は35人だが、5年生から40人になる。この学級編成で、コロナ禍での安全な学びの保障はできるのか。
答 文部科学省の学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」の基準は満たしている。
問 コロナ禍での特別支援学級の現状と課題は。
答 定数は8人で、空間的には問題は無い。
問 播磨南小学校は児童数が急増している。来年度の新生の予定人数と学校施設の今後の課題は。
答 予定人数は83人で3学級を想定している。現在15教室で、普通教室は確保することはできているが、余裕のない状況が続くと考えられる。

今後のコロナ禍対策は

無所属
大北 良子



町長 ひょうごスタイルを啓発

問 5月の緊急事態宣言解除後も、7月中旬より第一波を上回るペースで、県内の感染者は増加し続けていた。現在はコロナと共に工夫しながら生活を送る状態で、住民と共に歩んでいく新しい行政の在り方が問われている。来夏の夏も感染予防が継続している場合のマスク着用に関する対応は。
答 小中学校の登下校でのマスク着用は、熱中症事故防止の観点からも義務付けはしていない。県が定める「ひょうごスタイル」の啓発に努め



▲マスクを着用して登校中の中学生

ており、その中にも屋外で人と十分な距離が確保できる場合は、必ずよう促している。
問 働き方の新しいスタイルとして、オンライン会議の取組を進めるべきでは。
答 関係市町との会議で主催者側となる場合、また、本町が開催する会議をオンライン会議として実施することも可能となるため、Web会議システムの準備を進めている。
問 本年が30回の節目となる大中遺跡まつりは、密が生じるイベントは避けるべきとの観点から、例年どおりの実施は断念するとホームページに掲載されている。検討中である代替案は。
答 ドローンを使い大中遺跡や町の風景、町内の子どもたちも参加した映像を収録し、密を避け、屋外でビジョンカーにより上映したいと考えている。今後、実行委員会等、具体的な企画などを決定する予定である。



新政会
奥田 俊則

中継施設の住民への説明は

藤原理事 説明会の必要はないと判断

問 中継施設建設には莫大な費用が発生する。事前に住民説明が必要では。
答 住民サービスが後退するものではなく、説明会を実施する必要はないと判断した。
問 ごみ収集運搬体制検討業務報告書の中身を町長は知っていたのか。
答 現状のサービスを維持するためには中継施設が必要との報告を受けた。
問 町長は、中継施設を建設し大型車に積み替え、広域施設まで運搬する方法が、一番適当であり、選んだと説明があった。初めから、中継施設の建



▲ごみ中継施設の建設予定地

設の意図があったのでは。
答 中継施設建設が直送かを最初から想定して調査を行ったのではなく、調査結果を基に中継施設建設を決定した。
問 中継施設をつくらず直送運搬する場合、ごみ収集台数10台、収集作業員22人とあるが、厚生教育常任委員会などで説明がなかったが。
答 台数については収集時間と搬送時間を考慮したものである。説明は6月の一般質問で行った。
学校給食の公会計化は
武田 精算においては、調整が必要

問 学校給食は私会計であり、公会計に移行するには、繰越金や滞納金の精算を終えていなければならない。現状は。
答 精算については、学校現場の判断も含めた詳細な調整が必要である。引き続き検討を重ねる。

災害時の避難所増設は

岡本理事 現在の指定避難所で対応

問 従来の避難所のあり方から、感染防止、分散体制も考え、避難所増設や他の施設の活用は。
答 避難所の指定状況、管理施設の状況から増設は困難である。体育館や教室を利用し、コロナウイルス対策も含めパターションなどで仕切る。
問 高齢者や障がい者など、災害弱者の避難を支援する個別支援計画の、今後の具体的な目標などは。
答 福祉グループ、危機管理グループ、有識者で検討会を立ち上げ現実的な方向性を考える。まちらびりアドバイザーによる自治会の支援も考える。



公明党
木村 晴恵

津波避難ビル	使用階数等
福徳小学校	校舎3F以上
福徳西小学校	校舎3F以上
福徳南小学校	校舎3F以上
福徳中中学校	3F以上
エフエムビル	3F以上
サンシティ本社1階	3F以上
サンシティ本社2階	3F以上
エバーホースビル3階	3F以上

▲防災マップで示した指定避難所

問 本町が作成を進めているハザードマップを、スマホなどの地図アプリへ転用し、視覚に訴える災害情報のビジュアル強化を進めるべきでは。
答 本町はWeb版を採用する。住宅地図を選定し、ハザードマップの電子化を進めている。
▼その他の質問
町内文化財への防災対策と悉皆調査について

視覚に訴える災害情報を

岡本理事 Web版の導入を進める

問 総合防災マップなどの幅広い活用や、オストメイトトイレ設置場所の図面上の表示は。
答 冊子以外に、自主防災会への説明資料や学校教材になるものも作成する。他の広報啓発についても調査研究する。表示は、雨や高潮の時の避難経路が主で、誰もが使いやすい地図にしたい。